

平成29年度

仙台市ガス事業会計決算の概要

仙台市ガス局

平成29年度仙台市ガス事業の概況と決算の概要

1 事業の概況

本市のガス事業は、平成29年4月からガス小売全面自由化が開始され、全国的にエネルギー事業者間の競争が徐々に本格化してくる中、需要家戸数とガス販売量の拡大に取り組むとともに、製造供給設備の適切な維持管理やガス管損傷事故等の未然防止のための周知啓発など、さらなる保安の確保に努めました。

事業実績につきましては、年度末の需要家戸数は344,948戸（都市ガス343,440戸、プロパンガス1,508戸）と、他エネルギーへの切替等により、前年度に比較して144戸の減となり、また、ガスの販売量は318,315千 m^3 （都市ガス283,376千 m^3 、プロパンガス491千 m^3 、液化天然ガス34,448千 m^3 ）で、前年度に比較して1.5%の増となりました。

収支の状況につきましては、収入の面では、原料費調整により販売単価が高めに推移するとともにガス販売量が増加したことで、ガス売上が増加し、収入全体では前年度に比較して5.0%の増となりました。

一方、費用の面では、原料価格が高めに推移したことにより売上原価が増加し、費用全体としても前年度に比較して5.0%増加したものの、差引18億5千4百万円の純利益（消費税及び地方消費税抜き）となりました。

設備投資につきましては、安全性の向上を図るため、経年管の入替えを引き続き計画的に進めるなど、総額25億9千2百万円の建設改良費を執行しました。

営業面につきましては、家庭用では、一般のお客さま宅はもとより住宅メーカーや不動産会社等への訪問巡回や、機器販売店との連携による販売会において、顧客ニーズに沿った提案を行い、新築やリフォーム時に都市ガスを選択していただけるよう努めました。また、業務用では、機器の新設や更新等の時機を捉えて、ガス空調やコージェネレーションシステム等の導入提案を行うなど、新規需要の獲得と他燃料への離脱防止に取り組みました。

以上が決算の概況であります。今後ともお客さまの安全・安心を最優先とし、都市ガスの安定供給に努めるとともに、快適な暮らしと満足をお届けすることで、地域社会の発展に貢献し、お客さまに選ばれ続けるエネルギー事業者を目指してまいります。

(1) 戸数と販売量

区 分	単 位	平成 29 年度	平成 28 年度	比 較	
				増減(△減)	比率(%)
需 要 家 戸 数					
一 般 ガ ス 事 業	戸	343,440	343,599	△ 159	100.0
簡 易 ガ ス 事 業	〃	1,508	1,493	15	101.0
計	〃	344,948	345,092	△ 144	100.0
販 売 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	千m ³	283,376	274,399	8,977	103.3
附 帯 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	〃	34,939	39,343	△ 4,404	88.8
簡易ガス事業 (100.4652MJ/m ³)	〃	491	486	5	101.0
	〃	(220)	(218)	(2)	
液化天然ガス販売事業	〃	34,448	38,857	△ 4,409	88.7
	t	(28,486)	(32,132)	(△ 3,646)	
計 (45MJ/m ³ 換算)	千m ³	318,315	313,742	4,573	101.5
1 戸 1 ヶ 月 当 たり 使 用 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	m ³	76.1	73.1	3.0	104.1
簡 易 ガ ス 事 業 (100.4652MJ/m ³)	〃	13.0	12.8	0.2	101.6

(2) 設 備 の 現 況

区分	設 備 名	数 量 及 び 能 力		増 減 (△減)
		平成 29 年度	平成 28 年度	
一 般	気 化 装 置 O R V S M V 計	2基 60 t/時間	2基 60 t/時間	0 t/時間
		1基 30 〃	1基 30 〃	0 〃
		3基 90 〃	3基 90 〃	0 〃
ガ ス 事 業	ガ ス ホ ル ダ ー 球 形 計	7基 700,000 m ³	7基 700,000 m ³	0 m ³
		7基 700,000 〃	7基 700,000 〃	0 〃
業	導 管 本 支 管 供 給 管 計	4,420,102 m	4,410,071 m	10,031 m
		702,529 〃	694,954 〃	7,575 〃
		5,122,631 〃	5,105,025 〃	17,606 〃
附 帯 事 業	高 圧 装 置 導 管	16 基	16 基	0 基
		49,611 m	49,611 m	0 m

2 決算の概要

(1) 収益的収入及び支出

収 益 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 (△減)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	計		
事 業 収 益	39,520,593	△ 2,198,829	37,321,764	36,802,309	△ 519,455
製 品 売 上	34,442,025	△ 1,899,000	32,543,025	32,077,681	△ 465,344
ガ ス 売 上	34,442,025	△ 1,899,000	32,543,025	32,077,681	△ 465,344
営 業 雑 益	1,554,282	40,000	1,594,282	1,491,881	△ 102,401
受 注 工 事 収 入	1,309,107	0	1,309,107	1,257,946	△ 51,161
器 具 販 売 収 入	176,739	0	176,739	169,131	△ 7,608
そ の 他 営 業 雑 収 益	68,436	40,000	108,436	64,804	△ 43,632
附 帯 事 業 収 益	2,590,547	△ 311,000	2,279,547	2,371,099	91,552
プ ロ パ ン 販 売 収 入	91,622	0	91,622	87,820	△ 3,802
受 託 工 事 収 入	4,049	0	4,049	3,952	△ 97
器 具 販 売 収 入	763	0	763	23	△ 740
液 化 天 然 ガ ス 卸 供 給 収 入	2,494,017	△ 311,000	2,183,017	2,279,219	96,202
そ の 他 営 業 雑 収 益	96	0	96	85	△ 11
営 業 外 収 益	930,499	△ 35,740	894,759	861,327	△ 33,432
受 取 利 息 及 び 配 当 金	14,820	△ 2,740	12,080	12,201	121
他 会 計 補 助 金	131,559	0	131,559	131,559	0
利 子 補 給 金	120	0	120	120	0
為 替 差 益	100,000	0	100,000	67,782	△ 32,218
長 期 前 受 金 戻 入	525,532	0	525,532	519,881	△ 5,651
雑 収 入	158,468	△ 33,000	125,468	129,784	4,316
特 別 利 益	3,240	6,911	10,151	321	△ 9,830
固 定 資 産 売 却 益	0	6,911	6,911	0	△ 6,911
過 年 度 損 益 修 正 益	3,240	0	3,240	321	△ 2,919

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入は、当初 39,520,593千円を予定いたしました。が、営業雑益その他営業雑収益、固定資産売却益の増収見込みと、ガス売上、液化天然ガス卸供給収入等の減収見込みとの差引きにより、2,198,829千円を減額補正し、最終予算額は 37,321,764千円となりました。

これに対する決算額は、液化天然ガス卸供給収入、雑収入等の増収と、ガス売上、受注工事収入等の減収との差引きにより 36,802,309千円となり、予算額に対して 519,455千円の減収となりました。

収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	予備費 支出額	流用増減額 (△減)	計		
事業費	36,871,955	△ 2,164,551	0	0	34,707,404	33,892,634	814,770
営業費用	31,424,839	△ 1,927,000	0	△ 228,225	29,269,614	28,623,554	646,060
売上原価	19,285,880	△ 1,898,000	0	51,322	17,439,202	17,420,485	18,717
供給販売費	10,916,808	△ 29,000	0	△ 264,514	10,623,294	10,212,824	410,470
一般管理費	1,222,151	0	0	△ 15,033	1,207,118	990,245	216,873
その他営業費用	1,389,375	0	0	58,066	1,447,441	1,423,457	23,984
受注工事費	1,220,681	0	0	57,928	1,278,609	1,273,186	5,423
器具販売費	168,694	0	0	138	168,832	150,271	18,561
附帯事業費	2,393,794	△ 258,000	0	84,503	2,220,297	2,214,756	5,541
プロパン販売費	77,860	0	0	12,967	90,827	86,543	4,284
受託工事費	3,801	0	0	245	4,046	3,711	335
器具販売費	765	0	0	8	773	29	744
液化天然ガス 卸供給費	2,311,368	△ 258,000	0	71,283	2,124,651	2,124,473	178
営業外費用	1,525,737	△ 43,214	0	85,656	1,568,179	1,487,956	80,223
支払利息	738,046	△ 4,146	0	0	733,900	724,665	9,235
為替差損	100,000	0	0	0	100,000	29,013	70,987
消費税及び 地方消費税	684,627	△ 39,068	0	83,676	729,235	729,235	0
雑支出	3,064	0	0	1,980	5,044	5,043	1
特別損失	88,210	63,663	0	0	151,873	142,911	8,962
固定資産売却損	0	11,663	0	△ 691	10,972	2,010	8,962
過年度損益修正損	88,210	52,000	0	691	140,901	140,901	0
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的支出は、当初 36,871,955千円を予定いたしました。過年度損益修正損等の増額見込みと、売上原価等の減額見込みとの差引きにより、2,164,551千円を減額補正し、最終予算額は 34,707,404千円となりました。

これに対する決算額は、供給販売費、一般管理費等の減少により 33,892,634千円となり、不用額は 814,770千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 (△減)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	繰越額	計		
資本的収入	3,606,594	△ 281,256	1,092,300	4,417,638	110,305	△ 4,307,333
企業債	3,400,000	△ 200,000	1,092,300	4,292,300	0	△ 4,292,300
国庫補助金	15,630	△ 12,185	0	3,445	3,445	0
工事負担金	190,964	△ 94,000	0	96,964	106,787	9,823
固定資産売却代金	0	24,929	0	24,929	73	△ 24,856

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入は、当初 3,606,594千円を予定いたしましたが、固定資産売却代金の増収見込みと、企業債、国庫補助金、工事負担金の減収見込みとの差引きにより、281,256千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した同意済企業債 1,092,300千円を加え、最終予算額は 4,417,638千円となりました。

これに対する決算額は、110,305千円となり、予算額に対して 4,307,333千円の減収となりました。

資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補 正 予算額 (△減)	流 用 増減額 (△減)	繰 越 額	計			
資本的支出	8,374,251	△ 307,620	0	1,092,419	9,159,050	7,295,156	990,972	872,922
建設改良費	3,653,621	△ 290,000	0	1,092,419	4,456,040	2,592,148	990,972	872,920
製造設備	76,080	0	0	12,656	88,736	39,603	15,725	33,408
供給設備	3,505,797	△ 290,000	0	1,068,917	4,284,714	2,520,516	943,073	821,125
業務設備	68,479	0	0	10,846	79,325	31,070	32,174	16,081
附帯事業設備	3,265	0	0	0	3,265	959	0	2,306
企業債償還金	4,720,630	△ 17,620	0	0	4,703,010	4,703,008	0	2

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出は、当初 8,374,251千円を予定いたしましたでしたが、建設改良費、企業債償還金の減額見込みにより、307,620千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した建設改良費 1,092,419千円を加え、最終予算額は 9,159,050千円となりました。

これに対する決算額は 7,295,156千円となり、建設改良費 990,972千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 872,922千円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 7,184,851千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 174,800千円、過年度分損益勘定留保資金 3,155,366千円及び当年度分損益勘定留保資金等 3,854,685千円で補てんいたしました。

(3) 損益計算書

比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部			
科目	平成29年度	平成28年度	増減(△減)	科目	平成29年度	平成28年度	増減(△減)
営業費用	27,855,630	26,167,666	1,687,964	製品売上	29,703,447	27,641,229	2,062,218
その他営業費用	1,324,747	1,346,621	△ 21,874	営業雑益	1,381,934	1,420,232	△ 38,298
附帯事業費	2,209,196	2,243,292	△ 34,096	附帯事業収益	2,195,472	2,155,883	39,589
営業外費用	760,562	967,948	△ 207,386	営業外収益	855,781	910,560	△ 54,779
特別損失	132,514	9,645	122,869	特別利益	299	384,596	△ 384,297
小計	32,282,649	30,735,172	1,547,477	小計	34,136,933	32,512,500	1,624,433
当年度純利益	1,854,284	1,777,328	76,956	当年度純損失	—	—	—
計	34,136,933	32,512,500	1,624,433	計	34,136,933	32,512,500	1,624,433

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 34,136,933千円で、前年度に比べ 1,624,433千円の増収となりました。これは製品売上 2,062,218千円、液化天然ガス卸供給収入等の附帯事業収益 39,589千円の増加に対し、受注工事収入等の営業雑益 38,298千円、雑収入等の営業外収益 54,779千円、過年度損益修正益等の特別利益 384,297千円の減少によるものです。

また、総費用は 32,282,649千円で、前年度に比べ 1,547,477千円の増加となりました。これは売上原価等の営業費用 1,687,964千円、過年度損益修正損等の特別損失 122,869千円の増加に対し、受注工事費等のその他営業費用 21,874千円、液化天然ガス卸供給費等の附帯事業費 34,096千円、支払利息等の営業外費用 207,386千円の減少によるものです。

以上により、当年度は 1,854,284千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び欠損金処理計算書

資本剰余金については、当年度の増減はありませんでしたので、当年度末残高は 289,492千円となりました。

欠損金については、前年度末処理欠損金が 10,769,477千円でありましたが、当年度純利益 1,854,284千円を計上いたしましたので、当年度末処理欠損金は 8,915,193千円となりました。

当年度末処理欠損金 8,915,193千円については、全額を翌年度に繰り越しいたしました。

(5) 貸借対照表

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区 分 科 目	平成29年度	平成28年度	増 減(△減)	区 分 科 目	平成29年度	平成28年度	増 減(△減)
固 定 資 産	48,525,976	50,438,293	△ 1,912,317	固 定 負 債	37,297,249	41,748,841	△ 4,451,592
流 動 資 産	7,851,899	8,889,803	△ 1,037,904	流 動 負 債	8,714,754	8,657,891	56,863
				繰 延 収 益	4,516,512	4,926,288	△ 409,776
				資 本 金	14,475,061	14,475,061	0
				剰 余 金	△ 8,625,701	△ 10,479,985	1,854,284
計	56,377,875	59,328,096	△ 2,950,221	計	56,377,875	59,328,096	△ 2,950,221

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産については、有形固定資産が、減価償却費の計上等により 1,874,933千円減少いたしました。無形固定資産は、共同溝施設利用権が 37,384千円減少いたしました。これにより、固定資産は 1,912,317千円減少いたしました。

流動資産については、売掛金 147,758千円、製品 4,516千円、貯蔵品 42,369千円、前払費用 105千円の増加に対し、現金及び預金 276,514千円、未収金 58,133千円、原料 865,641千円、その他流動資産 32,364千円の減少により、差引き 1,037,904千円の減少となりました。

固定負債については、引当金 115,089千円の増加に対し、企業債 4,547,388千円、リース債務 19,293千円の減少により、差引き 4,451,592千円の減少となりました。

流動負債については、買掛金 569,833千円の増加に対し、企業債 155,621千円、リース債務 1,504千円、未払金 269,460千円、未払費用 2,234千円、前受金 79,404千円、預り金 186千円、引当金 4,561千円の減少により、差引き 56,863千円の増加となりました。

繰延収益については、長期前受金の減少により、409,776千円の減少となりました。

剰余金については、当年度純利益の計上により、1,854,284千円の増加となりました。

なお、平成29年度末における用地の内訳は、別表のとおりです。

以上が平成29年度仙台市ガス事業会計決算の概要であります。

用 地 内 訳 表

平成30年3月31日現在

区 分	所 在	面積(m ²)	帳簿価額(千円)	使用目的
工場用地	仙台市宮城野区港四丁目13-2	98,080	2,315,498	港 工 場
	小 計	98,080	2,315,498	
事務所用地	仙台市宮城野区幸町五丁目301-1 外15	41,987	884,812	供 給 管 理 棟
	仙台市青葉区中央二丁目10-3	1,822	1,678,307	シ ョ ー ル ー ム
	仙台市太白区西中田五丁目16-11	1,146	44,372	西 中 田 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市泉区将監八丁目1-135 外1	1,231	11,212	将 監 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市宮城野区幸町三丁目101-5	10,990	1,676,049	幸 町 三 丁 目 倉 庫
	小 計	57,176	4,294,752	
施設用地	仙台市青葉区 小田原八丁目328-1 外149	17,638	815,007	整 圧 器 設 置 等
	多賀城市新田字下河原16-7 外15	1,012	23,601	ガ ス 管 橋 施 設
	仙台市太白区茂庭字生出前24-23 外3	5,595	71,371	茂 庭 供 給 所
	仙台市泉区根白石字銅谷堤下13 外7	3,972	51,165	泉 供 給 所
	多賀城市栄四丁目341-1 外5	46,697	223,217	多 賀 城 供 給 所
	小 計	74,914	1,184,361	
その他用地	仙台市宮城野区扇町六丁目4-5 外4	8,406	643,878	
	仙台市泉区根白石字銅谷明神下13-2 外5	8,937	133,080	
	名取市愛島小豆島字島東66 外2	20,041	23,158	
	仙台市青葉区上愛子字五ッ森12	15,760	5,341	
	富谷市ひより台一丁目42-1 外13	3,057	137,291	
	小 計	56,201	942,748	
計		286,371	8,737,359	